

# 市長アンケートへの協力がとぎれとぎれありました

日本共産党議員団がすすめてきました「(仮称)厚生産業会館に関するアンケート」の開封・集計作業を、8日、福祉交流プラザで行いました。

アンケート配布者などに直接持参してくださった分を含め、回収できた数は2525通です。封筒の中には「(仮称)厚生産業会館に関するアンケート」が入っていないものが110通ほどあり、最終的に「(仮称)厚生産業会館に関する

アンケート」の回答数は2413でした。ご協力いただきましたみなさんに心から感謝申し上げます。

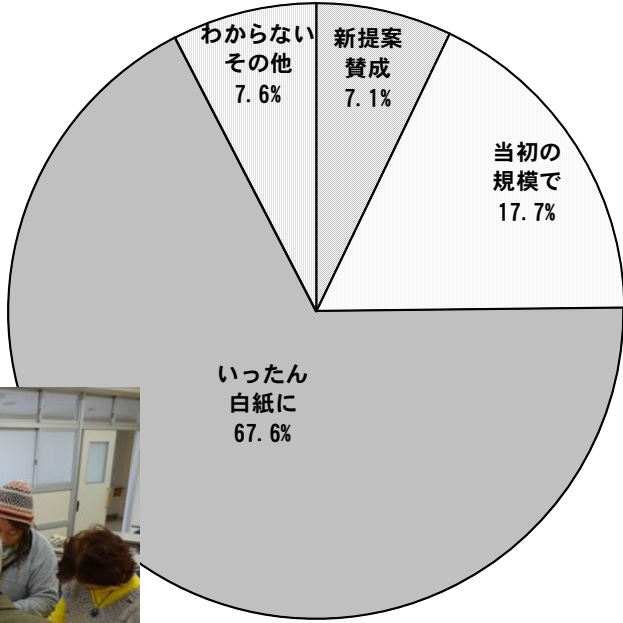
「いったん白紙に」67%

開封した結果、「いったん白紙に」という回答が圧倒的多数で67.6%、市の新提案に賛成は7.1%

回収率は約4%です。これが民意だと言いつけることはできませんが、市が進めようとしている計画に疑問を持っている市民が少なくないことは明らかです。改めて市民の意思を住民投票などで確認する必要があります。今回のアンケートにはコメント欄を設けましたが、新提案に賛成のものも含め、びつくりするほどたくさんコメントを寄せいただきました。なかにはアンケート用紙の裏面までびつしり書いてあるものがありました。つもありました。

## (仮称)厚生産業会館市民アンケート

項目	数	割合
新提案賛成	172	7.1%
当初の規模で	427	17.7%
いったん白紙に	1631	67.6%
わからないその他	183	7.6%
合計	2413	



日本共産党議員団ではアンケート調査結果を市に伝えるとともに、お寄せいただいたコメント

「育てる会」の長尾会長や前山事務局長から案内していただき、現地を視察しました。市議会からは私の他に中川、石田、小林の3人の議員が参加していました。

### 三和区の産廃中間処理施設跡地を視察

6日、三和区宮崎新田へ行き、産業廃棄物中間処理施設跡地を視察しました。今回の視察は、「三和の水とみどりを育てる会」などからの呼びかけで行われました。当日



吉川区のM子さんの押し花作品。素敵な押し花、絵画などの作品がありましたなら、教えてください。掲載します。

同跡地では産業廃棄物が県の行政代執行(2005年〜2006年)で「撤去された」ものの、まだ3分の1ほど残されています。行政側は安定品目なので心配なしとしているようですが、「育てる会」が指摘してきたように、「残置」された産廃には安定5品目に入らないものがいっぱいあって、野ざらし状態になっています。同会によると、今春の現地調査では有害物質と思われるものが水抜きから出ていたということでした。そばのたぬ池の色、気持ち悪い色になっていましたね。

視察が終わってから、参加者で意見交換しましたが、行政側の方では、現状のままがいいと思っていないものの、撤去に向けてすぐ動く気配はなく、今後、粘り強い運動が求められているなど感じました。日本共産党議員団でも対策を考えていきたいと思えます。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1683 2014.11.16

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628 吉川有線 4867

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第三三一回

### 小春日和の日に

小春日和のある日、母は居間の南側の廊下で日向ぼっこをしながら黙々と柿の皮むきが続けていました。よほど集中していたのでしよう、私が近くで咳をすると、「おっ、とちやか」と言って驚きました。

柿は牛舎の近くにある八珍柿です。忙しく動いているから私に声をかけてもだめだろうと、母は大湯区に住む弟に頼んでもいでもらったようです。すでに皮むきが終わっていたのは、そのときの「残りもの」でした。やわらかな陽射しのなかで、母は細い目で柿と包丁を見つめ、「干せばうんめし、もつたいないしなあ」と言いました。

私はこの日、地元にいる時間がけっこうあつて、お昼前にいったん家に戻りました。じつは私には母に訊いてみたいと思つていたことがありました。「春よ来い」に「食いつからし」のことを書いたことをきっかけにして、大島区岡のテエ子さんと母と板山の伯母の家に集まって三人でお茶飲みをしようという話が持ち上がり、先日、三人が寄つたのです。その様子を訊いてみたいと思つていました。

「おまん、この間、板山へ行つて来て、いかつたかね」と訊くと、「いかつたよー、かちやが伊作からごつとお取つてくんかつたし、杉（屋号）のかちやからもまるつこい、せいもんもらつた……」と言いました。「丸つこい、せいもん」というのは何かと思つたら、コタツの上に置いてあつた丸い入れ物に入つた奈良漬でした。

笑つてしまいましたね。いかつたかどうかの一番先に食べ物のことを口に出したからです。このところ、母は美味しいものがあれば、次々と食べてしまいます。母が板山の伯母のところへ行つたのはほぼ一年ぶり、岡のテエ子さんに会つたのは数十年前ぶりだつたようです。

七人姉妹の中で生きてるのは母と伯母、会つた時に気になるのは健康状態です。母は、「板山のぼちや、しつかりしていたよ。小姑だつたテエ子さんから毛糸で編んだいい靴下はかしてもらつて、ぽんぽんとはいていた」と伯母の様子を教えてくださいました。九〇歳の母は時どき、私にはわからない自作の言葉を使います。それも世間でごく普通に使われている言葉のように使つてくれます。でも今回の「ぽんぽんとはいていた」という言葉からは、伯母がうれしそうな表情で靴下をはいている光景が目につきました。

テエ子さんとは数十年前ぶりに再会でき、とても懐かしかつたらしい。「テエ子さんはへさで会つた。あの人、岡村のいい家にいなんがど。『おまん、ちつとも変わらんの』と言わんたすけ、『なして、顔かくさんきやならんようだ』とオラ、言つたがど」と話してくれました。テエ子さんとのその後、話はずんだことが想像できます。

三人がお茶飲みをしたのは伯母が寝起きしている部屋です。板山のかちややシュウジさん、それに、近所の、目のくりくりしたおばあちゃんと一緒に楽しいひと時を過ごしたようです。たくさんしゃべり、食べ、伯母の家で食べきれなかつたものはお土産にもらつてきたとか。

私が再び外へ出ていく時間になつた時も母は柿の皮をむき続けていました。私が立ち上がると、母は柿を見つめながら、「板山のぼちや、別れ際にサイナラと言つたら、オレの手、しつかかんとおさくがど。まんで手に力ある。力あればまだ大丈夫だ」そう言つてフフフと笑いました。

## (仮称)厚生産業会館や地元の切実な問題で発言相次ぐ

市議会主催の議会報告会・意見交換会が10日、11日と市内の4会場で行われました。私は公民館谷浜分館と吉川コミュニティプラザ会場での会に参加しました。

このうち谷浜分館会場では、30人近い市民が参加されました。地元だけでなく、遠くから若い人たちの参加もありました。

ここでは「鳥獣による農作物被害、今年は増えた。5%ほどの田んぼを耕作しているが電気柵で囲むと約80万円かかる。対策を研究してほしい」「保育園があり、中学校がある、この近くでクマが生息している。柿の木には爪でひつかかれたあとがあり、大量の糞もある。すぐに対策を」「介護保険の説明会場、もっと増やしてほしい」「たにはま保育園の入り口がよくわからない。看板設置を働きかけてほしい」などたくさんの要望が出されました。

40人近い人が参加した吉川コミュニティプラザ会場では全市的な課題についての質問が多かつたですね。「(仮称)厚生産業館会館、基本設計では大幅増額となっている。社会資本整



備総合交付金はどういう交付金か。財政危機の中、本当に必要な施設なのか。高田区地域協議会では不相当との答申だった。いったん白紙に戻すべきではないか」「私個人としてはどうやったら早く安く東京へ行けるかが関心事だ。ほくほく線に快速走らせてほしい。議会で議論されたか」「(仮称)厚生産業会館、どのような収支計画が提示されているのか。ペイできるのか」などです。

会場で出された要望などについては課題調整会議などで検討されます。

写真は11日の吉川会場です。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月5日(水)	11月12日(水)
上越南消防署	0.043	0.030
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.040	0.043
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.047	0.043
名立分遣所	0.040	0.046



# 春よ来い

## 第三三一回

### 小春日和の日に

小春日和のある日、母は居間の南側の廊下で日向ぼっこをしながら黙々と柿の皮むきを続けていました。よほど集中していたのでしよう、私が近くで咳をすると、「おっ、とちやか」と言って驚きました。

柿は牛舎の近くにある八珍柿です。忙しく動いているから私に声をかけてもだめだろうと、母は大潟区に住む弟に頼んでもいでもらったようです。すでに皮むきが終わっていたのは、そのときの「残りもの」でした。やわらかな陽射しのなかで、母は細い目で柿と包丁を見つめ、「干せばうんめし、もつたいないしなあ」と言いました。

私はこの日、地元にいる時間がけっこうあつて、お昼前にいったん家に戻りました。じつは私には母に訊いてみたいと思つていたことがありました。「春よ来い」に「食いつからし」のことを書いたことをきっかけにして、大島区岡のテエ子さんと母と板山の伯母の家に集まって三人でお茶飲みをしようという話が持ち上がり、先日、三人が寄つたのです。その様子を訊いてみたいと思つていました。

「おまん、この間、板山へ行つて来て、いかつたかね」と訊くと、「いかつたよー、かちやが伊作からごつとお取つてくんかつたし、杉（屋号）のかちやからもまるつこい、せいもんもらつた……」と言いました。「丸つこい、せいもん」というのは何かと思つたら、コタツの上に置いてあつた丸い入れ物に入つた奈良漬でした。

笑つてしまいましたね。いかつたかどうかの一番先に食べ物のことを口に出したからです。このところ、母は美味しいものがあれば、次々と食べてしまいます。母が板山の伯母のところへ行つたのはほぼ一年ぶり、岡のテエ子さんに会つたのは数十年前ぶりだつたようです。

七人姉妹の中で生きてるのは母と伯母、会つた時に気になるのは健康状態です。母は、「板山のぼちや、しつかりしていたよ。小姑だつたテエ子さんから毛糸で編んだいい靴下はかしてもらつて、ぽんぽんとはいていた」と伯母の様子を教えてくださいました。

九〇歳の母は時どき、私にはわからない自作の言葉を使います。それも世間でごく普通に使われている言葉のように使うのです。でも今回の「ぽんぽんとはいていた」という言葉からは、伯母がうれしそうな表情で靴下をはいている光景が目につきました。

テエ子さんとは数十年前ぶりに再会でき、とても懐かしかつたらしい。「テエ子さんはへさで会つた。あの人、岡村のいい家にいなんがど。『おまん、ちつとも変わらんの』と言わんたすけ、『なして、顔かくさんきやならんようだ』とオラ、言つたがど」と話してくれました。テエ子さんとのその後、話はずんだことが想像できます。

三人がお茶飲みをしたのは伯母が寝起きしている部屋です。板山のかちややシュウジさん、それに、近所の、目のくりくりしたおばあちゃんと一緒に楽しいひと時を過ごしたようです。たくさんしゃべり、食べ、伯母の家で食べきれなかつたものはお土産にもらつてきたとか。

私が再び外へ出ていく時間になつた時も母は柿の皮をむき続けていました。私が立ち上がると、母は柿を見つめながら、「板山のぼちや、別れ際にサイナラと言つたら、オレの手、しつかかんとおさくがど。まんて手に力ある。力あればまだ大丈夫だ」そう言つてフフフと笑いました。

## (仮称)厚生産業会館や地元の切実な問題で発言相次ぐ

市議会主催の議会報告会・意見交換会が10日、11日と市内の4会場で行われました。私は公民館谷浜分館と吉川コミュニティプラザ会場での会に参加しました。

このうち谷浜分館会場では、30人近い市民が参加されました。地元だけでなく、遠くから若い人たちの参加もありました。

ここでは「鳥獣による農作物被害、今年は増えた。5畝ほどの田んぼを耕作しているが電気柵で囲むと約80万円かかる。対策を研究してほしい」「保育園があり、中学校がある、この近くでクマが生息している。柿の木には爪でひつかかれたあとがあり、大量の糞もある。すぐに対策を」「介護保険の説明会場、もっと増やしてほしい」「たにはま保育園の入り口がよくわからない。看板設置を働きかけてほしい」などたくさんの要望が出されました。

40人近い人が参加した吉川コミュニティプラザ会場では全市的な課題についての質問が多かつたですね。「(仮称)厚生産業館会館、基本設計では大幅増額となっている。社会資本整



備総合交付金はどういう交付金か。財政危機の中、本当に必要な施設なのか。高田区地域協議会では不相当との答申だった。いったん白紙に戻すべきではないか」「私個人としてはどうやったら早く安く東京へ行けるかが関心事だ。ほくほく線に快速走らせてほしい。議会で議論されたか」「(仮称)厚生産業会館、どのような収支計画が提示されているのか。ペイできるのか」などです。

会場で出された要望などについては課題調整会議などで検討されます。

写真は10日の谷浜分館会場です。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月5日(水)	11月12日(水)
上越南消防署	0.043	0.030
上越北消防署	0.050	0.057
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.040	0.043
東頸消防署	0.050	0.047
高士分遣所	0.047	0.043
名立分遣所	0.040	0.046